

2009年5月の東北地方の天候

【5月の特徴】

- 上旬を中心とした高温
- 少雨

(1) 2009年5月の概況

上旬は高気圧におおわれ晴れの日が多くたが、中旬以降は高気圧と低気圧が日本付近を交互に通過し、天気は数日の周期で変化した。寒気の影響を受けにくく、上旬を中心に気温の高い日が多くたため、月平均気温はかなり高かった。また、発達した低気圧の影響を受けることは少なく、月降水量はかなり少なかった。東北南部では、1946年以降の5月として月降水量の少ない方からの1位となった。

月平均気温は東北地方でかなり高い。月降水量は東北北部で少なく、東北南部でかなり少ない。月間日照時間は東北北部で平年並、東北南部で少ない。

(2) 各旬の天候経過

上旬：東北北部では、気圧の谷の影響により曇りの日もあったが、期間をとおして高気圧におおわれ晴れの日が多くた。東北南部では、期間のはじめと終わりに高気圧におおわれ晴れた他は、南岸低気圧や気圧の谷の影響で曇りの日が多くたが、天気の崩れは小さかった。なお、期間をとおして暖かい空気におおわれ、気温はかなり高くなつた。

平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北地方でかなり少ない。日照時間は東北北部でかなり多く、東北南部で平年並。

中旬：期間のはじめは低気圧や前線の影響で東北日本海側や東北北部を中心に曇りや雨の日が多くた。その後は、17日に低気圧の影響で雨となつた他は、高気圧におおわれ晴れの日が多くた。なお、期間のはじめと終わりは気温の高い日が多くたが、中頃は寒気の影響で低温となり気温の変動が大きかつた。14日は気圧の谷の通過により福島県で突風による被害が、18日は低気圧の通過後、気圧の傾きが急になり秋田県と岩手県で強風による被害が発生した。

平均気温は東北日本海側で低く、東北太平洋側で平年並。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。

下旬：期間の前半は、低気圧や上空に寒気を伴つた気圧の谷の影響により、曇りや雨の日が多くたが天気の崩れは小さかつた。その後は高気圧におおわれ晴れたが、期間の終わりは、低気圧や気圧の谷の影響により曇りや雨となり、東北太平洋側ではまとまつた雨となつたところもあつた。

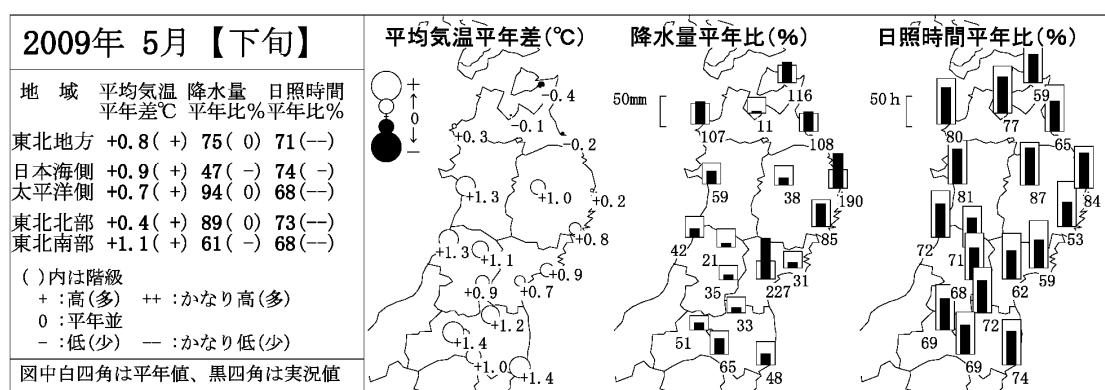
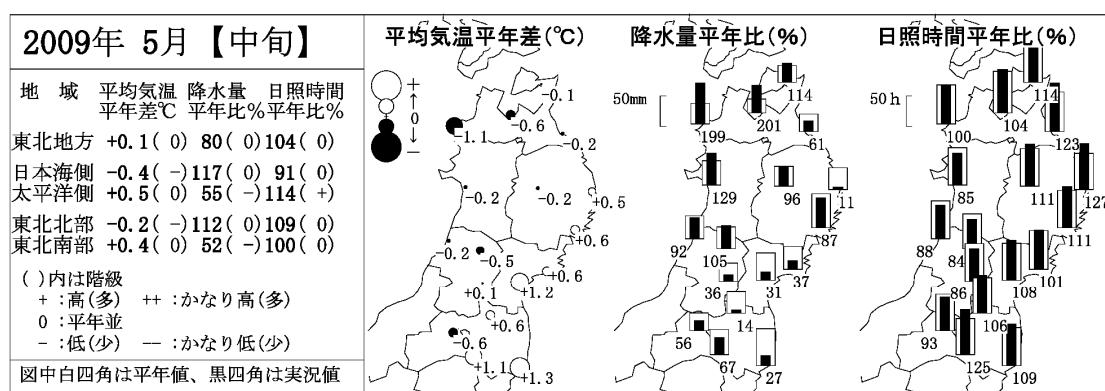
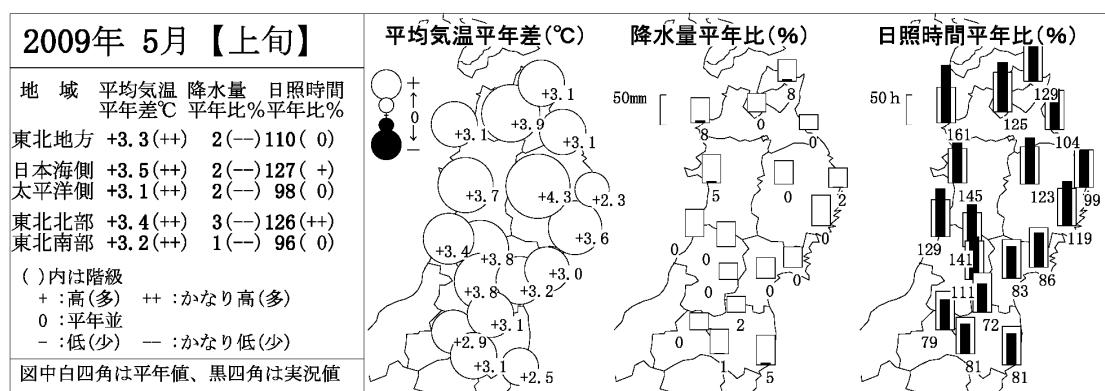
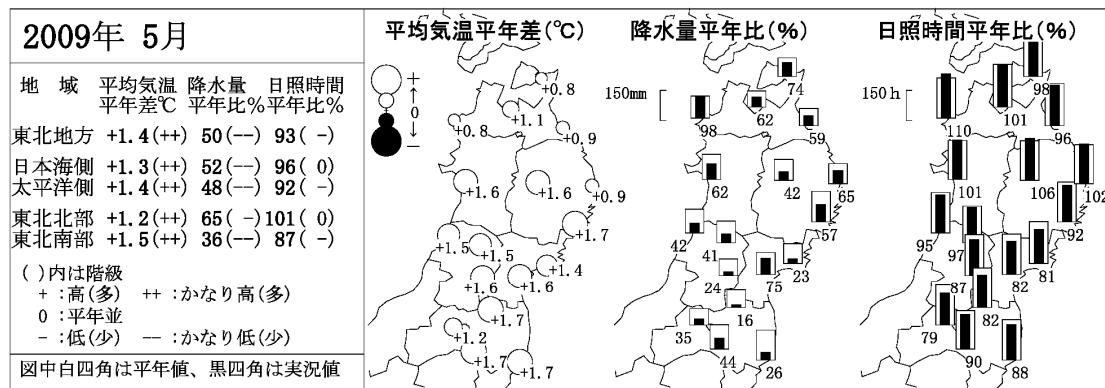
平均気温は東北地方で高い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。

(注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。
細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注2を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2009年5月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971~2000年。

(注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 2009年5月の月気候表

地 点 名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数		日照時間(平年比)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)		≥1mm	(h)	(%)		
青 森	14.2	(+1.1)	+	48.5	(62)	-	7	211.4	(101)	○	
深 浦	13.8	(+0.8)	+	106.5	(98)	○	11	217.9	(110)	+	
む つ	12.9	(+0.8)	+	68.0	(74)	-	10	204.4	(98)	○	
八 戸	14.0	(+0.9)	+	50.0	(59)	-	8	198.3	(96)	○	
秋 田	15.8	(+1.6)	+*	76.0	(62)	-*	11	194.0	(101)	○	
盛 岡	15.4	(+1.6)	+*	43.5	(42)	-*	5	206.5	(106)	+	
大 船 渡	15.3	(+1.7)	+*	86.0	(57)	-*	7	179.9	(92)	-	
宮 古	14.0	(+0.9)	+	63.5	(65)	-	7	196.1	(102)	○	
仙 台	16.5	(+1.6)	+*	80.5	(75)	-	7	163.7	(82)	-	
石 卷	15.4	(+1.4)	+*	22.5	(23)	-*	5	166.9	(81)	-	
山 形	17.0	(+1.6)	+*	19.5	(24)	-*	4	175.6	(87)	-	
新 庄	15.7	(+1.5)	+*	44.0	(41)	-*	5	174.7	(97)	○	
酒 田	16.4	(+1.5)	+*	49.0	(42)	-*	8	188.1	(95)	○	
福 島	18.2	(+1.7)	+*	14.0	(16)	-*	3	162.7	(82)	-	
若 松	16.7	(+1.2)	+*	28.5	(35)	-*	6	156.8	(79)	-*	
白 河	16.5	(+1.7)	+*	53.0	(44)	-*	6	170.5	(90)	-	
小 名 浜	16.8	(+1.7)	+*	37.5	(26)	-*	5	173.6	(88)	-	

(注) 1. 平年値は1971~2000年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めた。

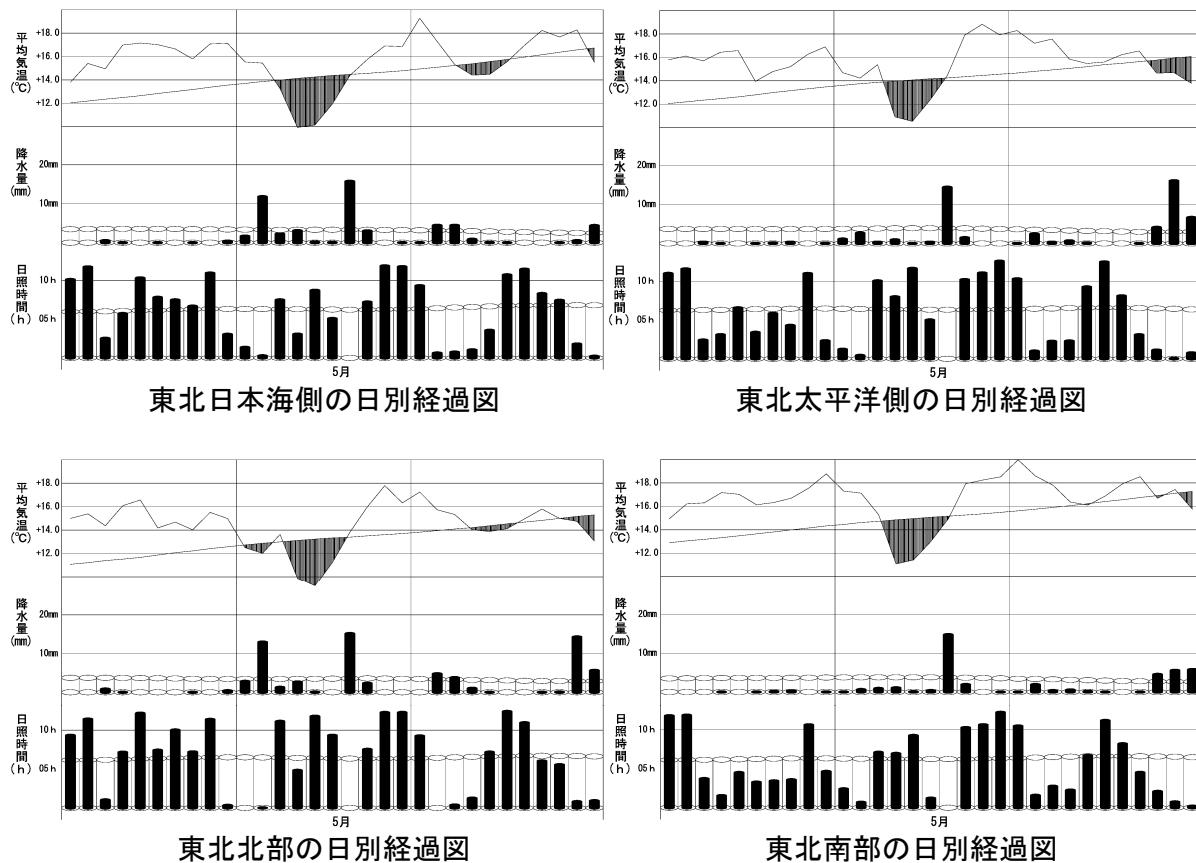
また、値が 1971~2000 年の観測値の上位または下位 10%に相当する場合には階級の「+」に * を付加した。この場合には

と表現できる。

3. 値の横に) や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ（日別値）に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値（準正常値）は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値（資料不足値）については、値の下に記載した統計日数（統計に用いた、品質が十分な日別値の数）を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(5) 2009年5月の日別経過図



(6) 2009年5月の極値・順位の更新

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
1	大船渡	15.3	+1.7	15.1 (1999)	1964	13.6
	仙台	16.5 =	+1.6	16.5 (1999)	1927	14.9
2	新庄	15.7	+1.5	15.9 (1998)	1958	14.2
	盛岡	15.4 =	+1.6	15.5 (1967)	1924	13.8
	山形	17.0	+1.6	17.6 (1998)	1890	15.4
	福島	18.2	+1.7	18.3 (1998)	1889	16.5
	白河	16.5 =	+1.7	16.7 (1998)	1940	14.8
3	小名浜	16.8 =	+1.7	17.0 (1999)	1910	15.1

月平均気温低い方からの順位更新

3位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新
3位以内はなし

月降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	山形	19.5	24	20.9 (1926)	1890	81.3
	石巻	22.5	23	26.5 (2003)	1888	98.2
	福島	14.0	16	25.0 (1891)	1889	87.5
	小名浜	37.5	26	46.9 (1946)	1910	147.0
3	白河	53.0	44	44.0 (1991)	1940	120.0

月間日照時間多い方からの順位更新
3位以内はなし

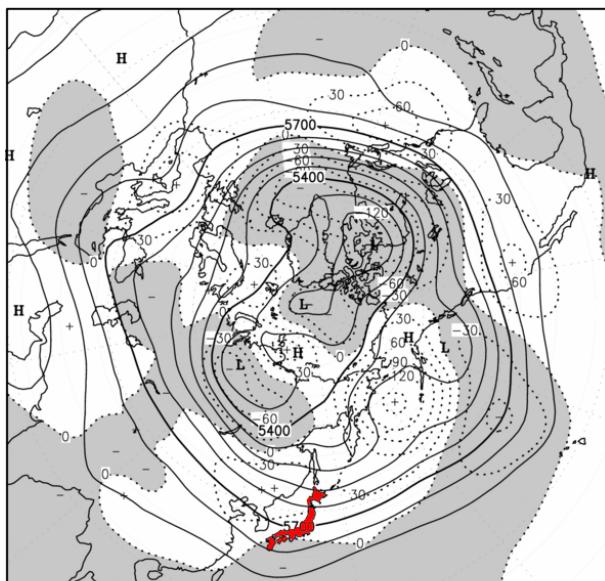
月間日照時間少ない方からの順位更新
3位以内はなし

(注) 平年値とは1971~2000年の30年間の値を平均したものである。

(7) 2009年5月の循環場の特徴

中央シベリア付近は負偏差となったが、極東域の中緯度帯には東西に正偏差が広がり、北日本は中国東北区を中心をもつ正偏差におおわれた。寒気が流入しにくく、気温の高い日が多くなったことに対応している。

また、日本の南には負偏差が広がった。亜熱帯高気圧が平年より弱く、日本付近への暖湿流の流入が弱くなり、降水量が少なかったことに対応している。



2009年5月の平均500hPa高度
実線は等高度線：60m毎、点線は偏差：30m毎
陰影部は負偏差（寒気に対応）